



# 青銅器作り体験

## ～小銅鐸～

銅と錫(すず)の合金である青銅は、その名前から青緑色と思われがちですが、これは空気中で酸化した状態の色で、本来は黄金色や白銀色の光沢のある金属です。

銅も錫もそれぞれは柔らかい金属ですが、混ぜ合わせた青銅はどちらの金属よりも硬くなり、美しい輝きを放ちます。弥生時代の人々は、すでにその合金技術を理解して、神秘的な輝きを求め青銅器作りを実践していました。

今回の青銅器作り体験は、ミニミニ銅鐸に次ぐ第2段として、弥生時代を通じて作られ続けてた「まつりのカネ(鐘)」銅鐸作りです。古代の雰囲気ができるだけ残しながら、流水文を施した小銅鐸の製作を体験していただきます。



- 日 時 令和元年9月7日(土)午前9時～午後4時
- 場 所 風土記の丘研修センター実習室
- 募集定員 16歳以上の方8名
- 参加費 7,000円(教材費・保険料:参加時にお支払いください)
- 申込方法 参加を希望するご本人が電話または来館にてお申込みください。  
※申し込み多数の場合は抽選にさせていただきます。
- 申込受付 令和元年8月7日(水)より8月21日(水)
- 持ち物等 筆記用具、昼食、革手袋(安価なものでよい)、マスク、汚れてもよい服装
- 申込先 風土記の丘研修センター  
甲府市下向山町1271 電話055-266-5286  
休館日:月曜日(8月12日を除く)

■ ホームページ

山梨県立考古博物館

検索

